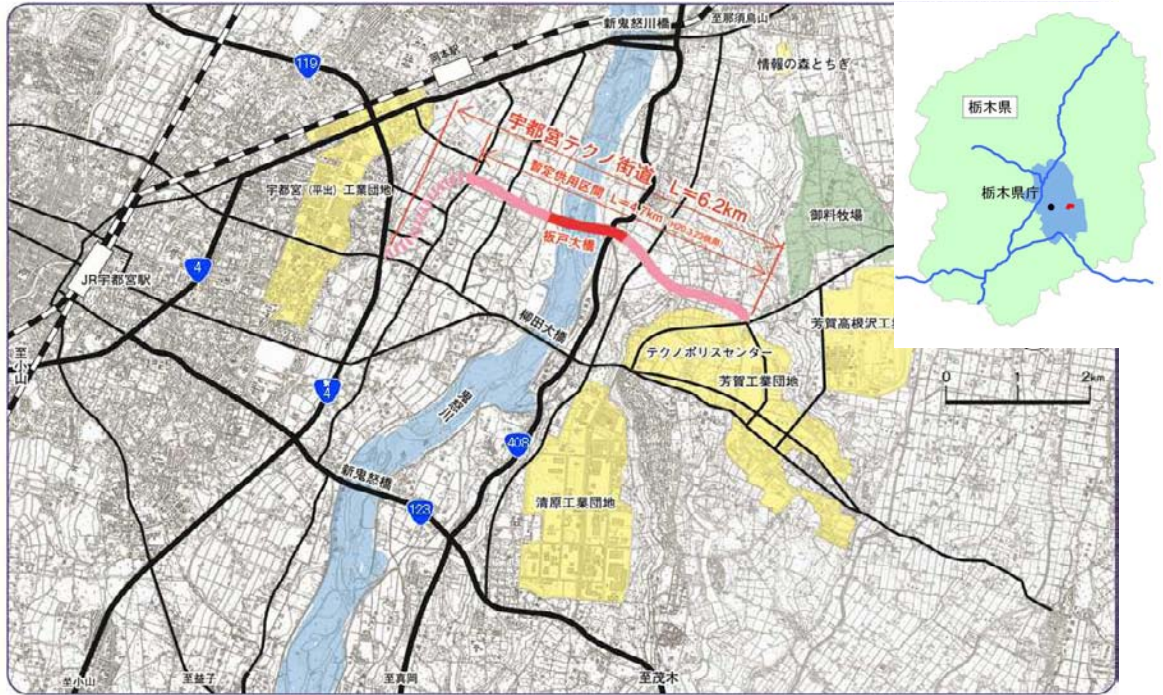


道路事業の再評価概要書

道 路 事 業 の 再 評 価 概 要 書		番 号	1 2 2
		事業主体	栃 木 県
事業名	快適な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課
路線・河川名	主要地方道 <small>うつのみやむかだ</small> 宇都宮向田線	事業箇所名	<small>うつのみやしひらいでたど</small> 宇都宮市平出板戸
事業区間	<small>うつのみやしひらいでまち</small> 宇都宮市平出町 <small>はがぐんはがまちしもたかねざわ</small> ～芳賀郡芳賀町下高根沢	事業延長	6, 240m
H14年度事業化	—	H14年度用地着手	H15年度工事着手
事業期間	H14年度～H27年度	事業進捗状況	基準年次：【平成23年度末時点】 進捗率
[うち用地補償費]	[33.0億円]		[うち用地補償費] [28.0億円] [85%]
全体事業費	120.0億円		既投資事業費 101.3億円 84%
事業概要			
<p>主要地方道宇都宮向田線は、宇都宮市と那須烏山市とを連絡する幹線道路であるとともに、宇都宮市街地から同市東部（鬼怒川左岸地域）に位置する大規模な産業団地群（清原、芳賀、芳賀高根沢など）へのアクセスとして重要な役割を担っている道路である。</p> <p>しかしながら、鬼怒川を渡る橋周辺では朝夕を中心に交通容量が不足し、深刻な交通渋滞が発生しており、日常生活や地域発展上の大きな妨げとなっている。また、同地域では宇都宮テクノポリスセンター地区の開発が進められており、さらなる交通量の増加が見込まれていることから、新たな連絡道路の整備による道路ネットワーク強化が急務となっている。</p> <p>このため、本地域の交通渋滞の緩和とともに、産業・経済の発展、地域間の交流・連携の促進を目的に鬼怒川を渡る新たな橋梁を含むバイパス整備を行うものである。</p>			
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
特になし			
事業の投資効果			
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】
(1) 事業全体	B/C= 2.9	393.2億円	136.9億円
(2) 残事業	B/C= 13.6	271.5億円	19.9億円
2 事業の整備効果等			
<ul style="list-style-type: none"> ・バイパス整備による交通渋滞の緩和 ・大規模産業団地群へのアクセス向上による産業・経済の発展 ・宇都宮市街地と県東部地域間の交流・連携の促進 			
事業の進捗状況等			
1 事業の進捗状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・1期工区（L=4.7km）が平成20年3月に供用した。 ・2期工区（L=1.5km）は現在、用地取得及び工事を推進している。 			
2 今後の事業進捗の見込み			
<ul style="list-style-type: none"> ・2期工区のうち、優先区間L=0.9kmについて、平成24年度に暫定2車線で供用を図り、残るL=0.6kmについては、平成27年度に暫定2車線で供用を図る。 			
コスト縮減等			
1 コスト縮減方策			
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材を積極活用しコストを縮減 			
2 代替案立案の可能性			
<ul style="list-style-type: none"> ・大部分の用地を既に取得していることから、代替案立案は困難である。 			
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。	

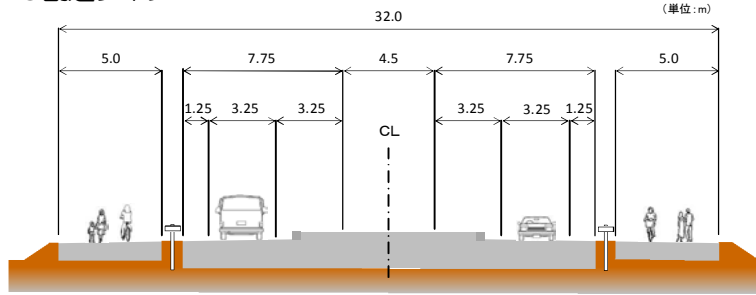
事業箇所（位置図・概要図）

位置図

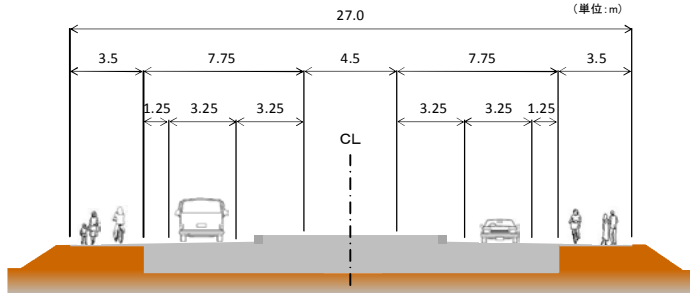


標準横断面図

●副道タイプ



●歩道タイプ



概要図

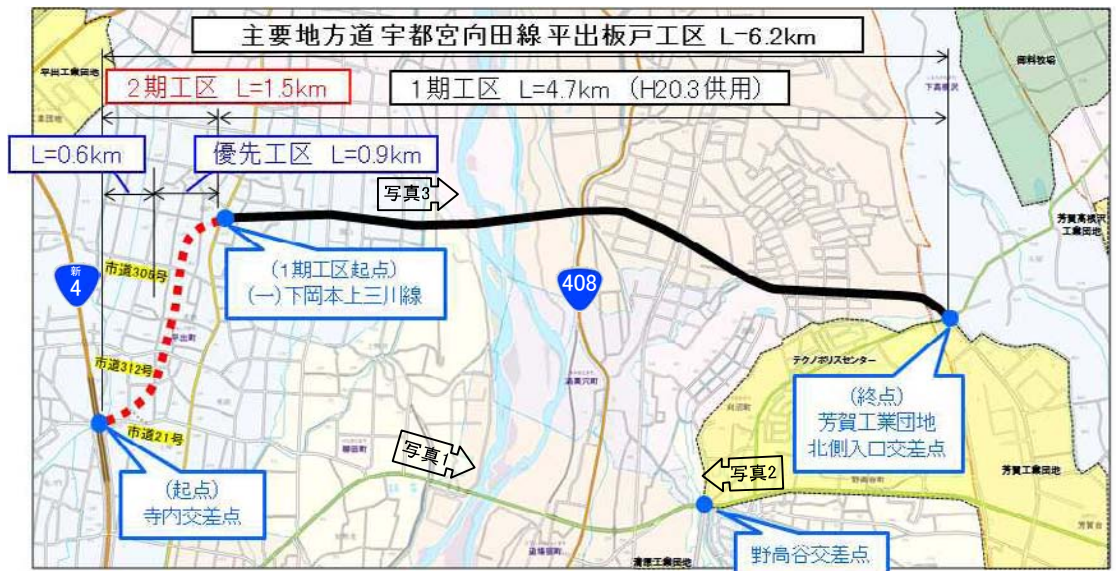




写真 1 : 柳田大橋の渋滞状況



写真 2 : 野高谷町交差点の渋滞状況



写真 3 : 供用区間板戸大橋